

研究代表者氏名	石 塚 晴 通			研究組織	6 人	
所属機関・部局・職	北海道大学・大学院文学研究科・教授			所属機関所在地	札幌市	
研究課題名	寺院経蔵の構成と伝承に関する実証的研究 高山寺の場合を例として					
研究の概要等	<p>中世以前の寺院は、仏教のみならず当時の全ての学問・技芸を綜合する一大文化集積機関であり、諸学・諸芸の中心であった。寺院経蔵文献は多岐に亘り、その活動と発展の十全な理解は、経蔵の構成と伝承を考慮して捉えない限り不可能である。</p> <p>本研究は、こうした時代を越えた有機性を持つ寺院経蔵の実証的研究のモデルケースとして、既に代表者・分担者らが協力して多年の調査を進め成果を得て来た高山寺(京都)経蔵を取り上げ、諸学・諸芸の中心としての寺院経蔵の全体像を初めて体系的に明らかにする事を試みるものである。</p> <p>高山寺経蔵本のデータベース化によって、仏教文献及び他文献分野の収集状況、注釈活動における典籍の相互利用、開祖明恵の文献の伝承と書写等、当時の諸学・諸芸の形作る相互依存関係を現存経蔵本及び旧蔵本から再現する。更に、それらの中世から現代に至る伝承(国内国外への散佚を含む)を実証的に追跡調査することによって、寺院経蔵の全体像を明らかにし、寺院経蔵論のモデルケースとする。</p>					
当該研究課題と関連の深い論文・著書(研究代表者のみ)	<p>1：石塚晴通編『学芸複合構造体(コーパス)としての寺院経蔵の総合的研究 高山寺の場合を例として』</p> <p>2：奥田勲・石塚晴通・宮澤俊雅『高山寺経蔵古目録』(東京大学出版会、pp.342、1985)</p>					
研究期間	平成 14 年度～平成 18 年度(5 年間)					
研究経費	平成 1 4 年度	平成 1 5 年度	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	合計
(1 5 年度以降は内約額)	千円 14,000	千円 14,300	千円 14,300	千円 13,900	千円 11,800	千円 68,300